

全ては子どもたちのために

壁面に掲示してご活用ください

共に歩まん

令和3年11月18日発行

第17号

長野県中信教育事務所



←過去の「共に歩まん」はこちら

シリーズ「指導と評価の一体化」特別活動編 積極的によさや可能性を評価

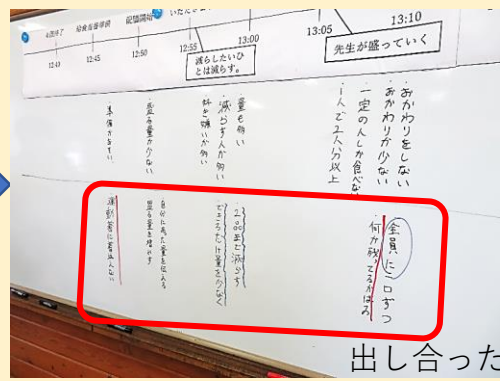
学級活動（1）の話合い活動における指導と評価は、どのようにしたらよいでしょうか？ ポイントは「今、ここ！」で見られた子供のよさと可能性を評価することです。女鳥羽中学校の実践「誰も無理することなく残食を0にするにはどうする？」から学びましょう。

今、ここ① 【知識・技能】の評価は、合意形成に向けた話合いの手順・方法を身に付けているかを視点に行います。

合意形成に向けた話合いの過程において、書記の果たす役割は重要です。4時間目終了後から給食着への着替え、食缶等の運搬、配膳、「いただきます」の挨拶までにどのような課題があるのかを時系列に沿ってまとめることで、解決方法を見つけやすくしています。仲間の発言を聞きながら、分かりやすく時系列でまとめる姿に対し、どんな言葉をかけますか？



課題を記入



出し合った解決方法

今、ここ② 終末に教師から、『それでよかね』で価値付けます。

- よ …前の話合いと比べて「よ」かったこと（成長・成果）
- か …次回の話合いに向けての「か」だい（課題）
- ね …司会・書記や学級全体への「ね」ぎらい（高まる実践意欲）

合意形成を図ることができた喜びや次の話合いでは乗り越えさせたいことを、的確に子供に返す評価が求められます。この写真のように先生の視線と温かな語り掛けがポイントです。



学級活動（1）は、子供が進める話合い活動です。だから、すてきな姿をたくさん見つけることができるね。

